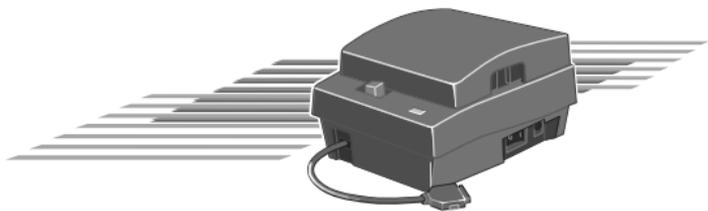


チューブフィーダ

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管ください。



もくじ

1	安全にお使いいただくために	2
2	お使いになるまえに	6
	そろっていますか？	6
	各部の名称とはたらき	7
3	使ってみよう	8
	チューブフィーダを取り付ける	8
	チューブフィーダを使う	10
	チューブを取り出す	12
4	こんなときには	14
	チューブフィーダを取り外すときは	14
	チューブが排出/搬送されないときは	16
	その他のこんなときは	18
5	お手入れ	20
	チューブフィーダのお手入れ	20
	ローラのお手入れ	20
	チューブクリーナのお手入れ	20
6	おもな仕様	21

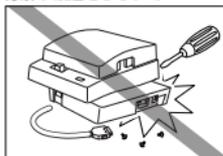
リール式のチューブをスムーズ搬送
チューブフィーダは、リール式のチューブをプリンタにまっすぐ搬送するための装置です。チューブフィーダを使うと、チューブのねじれや伸縮のない安定した搬送で、きれいに印字できるようになります。

1 安全にお使いいただくために

チューブフィーダを安全にお使いいただくために、つぎのことを必ずお守りください。

⚠ 警告

分解や改造をしないで



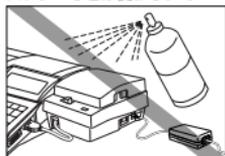
内部には高電圧、高温部分があり、接触すると感電ややけどをするおそれがあります。火災の原因にもなりますので、絶対に分解や改造をしないでください。

プラグは確実に差し込んで



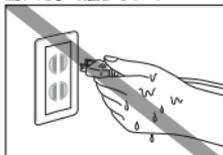
ACアダプタのプラグは確実に電源コンセントに差し込んでください。火災や感電の原因になります。

スプレーなどは使わないで



本機のそばで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。スプレーのガスが内部部品に触れて、火災や感電の原因になります。

濡れた手で触らないで



手が濡れた状態でACアダプタのプラグなどを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

熱器具のそばで使用しないで



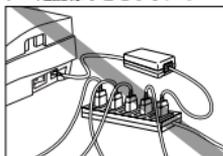
熱器具のそばで本機を使わないでください。コードなどが溶けて火災や感電の原因となります。

お手入れのときは電源をOFFに



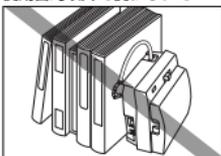
清掃するときは電源スイッチをOFFにし、ACアダプタのプラグを電源コンセントから抜いてください。

タコ足配線などをしないで



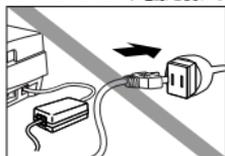
二股ソケットなどを使ってタコ足配線をしてください。また、電源コードを束ねたり、結んだりしたまま通電しないでください。火災や感電の原因になります。

使用目的以外で使わないで



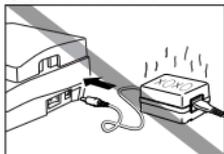
本機は本書に書かれている以外の目的で使わないでください。故障や火災の原因になります。

AC100~240Vの電源を使って



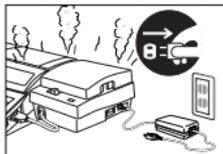
AC100~240V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

専用のアダプタ以外は使わないで



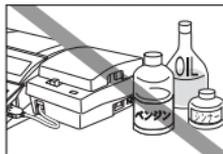
ACアダプタは必ず専用のものをお求めください。他のACアダプタをご使用になると、故障の原因となるばかりでなく、過熱するおそれもあり大変危険です。

異常状態の時は電源をOFFに



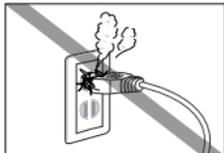
発煙、異臭のときはすぐに本体の電源スイッチをOFFにし、電源コンセントからACアダプタのプラグを抜き、お近くの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

シンナーなどに要注意



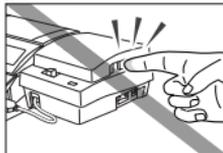
アルコールやシンナーなど引火性溶剤の近くで使用しないでください。溶剤が内部に入ると火災の原因になります。また、本機を拭くときは、水にしめらせて固くしぼったガーゼを使用し、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。溶剤が内部の電気部品に触れて火災や感電の原因となります。

ACプラグは常にキレイに



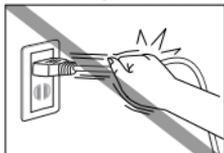
ACアダプタのプラグは定期的な清掃してください。ホコリや汚れ、油煙などが付着した状態で長時間使用すると、ホコリが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

指を入れないで



電源がONのとき、チューブ挿入口やチューブ排出口に指を入れないでください。けがの原因となります。

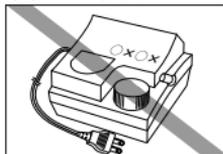
ACアダプタの扱いはていねいに



電源プラグをコンセントから抜くときは、コードではなくプラグ部を持ってまっすぐに抜いてください。コードが傷つくと火災や感電の原因になることがあります。また、ACアダプタを抜き差しするときは、必ず本機の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

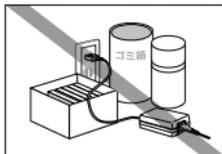
⚠ 注意

専用のものを使って



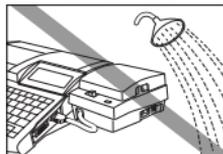
チューブフィーダはプリンタ本体専用のもの（本機）をご使用ください。本機以外のものを使うと印字不良や故障の原因となります。

コンセントの周囲は整頓して



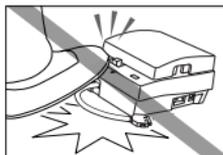
いつでもすぐにACアダプタのプラグが抜けるように、そばにものを置かないでください。異常時にプラグが抜けると、火災や感電の原因になることがあります。

湿度やホコリに注意して



高温高湿の場所、ホコリの多いところ、直射日光の当たる場所、火気の近くでは使用（または保管）しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

取り扱いはやさしく



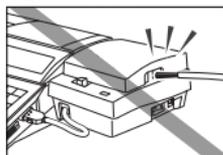
本機に強い力や衝撃などを与えないでください。故障の原因になることがあります。

未使用時はコンセントから抜いて



長期間ご使用にならないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。漏電などの原因になることがあります。また、ホコリなどがたまって、火災の原因にもなります。

電線を入れないで



本機はチューブを搬送するための装置です。電線やケーブルなどはセットしないでください。故障や火災の原因となる場合があります。

マークの意味

本書で使われているマークはつぎのような意味です。



警告マーク

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



メモマーク

知っていると便利な情報や操作の補足説明が書かれています。必要に応じてお読みください。



?マーク

困ったときのヒントなどが書かれています。



キーボード

プリンタのキーボードのXXキーを押すことを意味します。

2

お使いになるまえに

チューブフィーダをお使いになるまえに知っておいていただきたいことや、しておかなければいけない準備作業について説明します。

■ そろっていますか？

つぎのものがそろっているかどうか確認してください。足りないものがあるときは、お近くの販売店までご連絡ください。

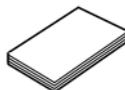
チューブフィーダ

チューブフィーダ本体です。



取扱説明書（本書）

チューブフィーダの操作方法、使用にあたっての注意事項が書かれています。

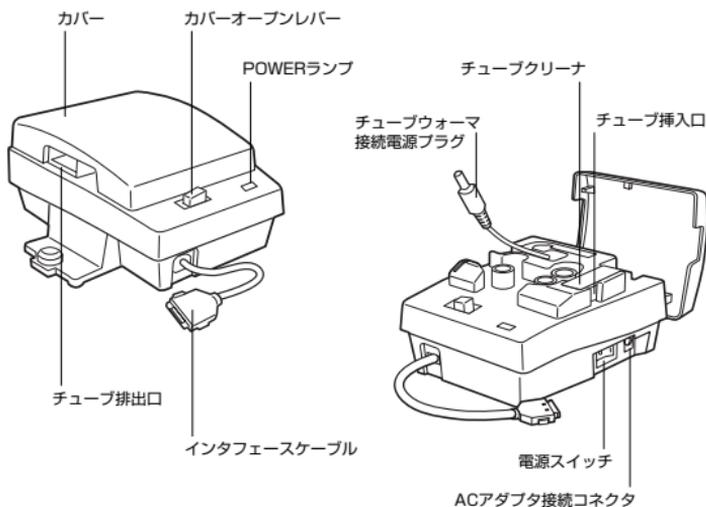


ACアダプタ、電源コード

プリンタに電力を供給します。



■ 各部の名称とはたらき



電源スイッチ

チューブフィーダの電源をON/OFFします。

POWERランプ

チューブフィーダの電源をONにすると点灯します。

チューブクリーナ

チューブ表面に付いた汚れを除去します。

チューブ挿入口

ここからチューブをチューブフィーダ内部に入れます。

チューブ排出口

ここからチューブが排出されます。

ACアダプタ接続コネクタ

ここにACアダプタのプラグを差し込みます。

カバー

チューブフィーダ内部を保護します。

カバーオープンレバー

カバーを開けるときに右にスライドさせます。

インタフェースケーブル

プリンタ本体に接続します。

チューブウォーマ接続電源プラグ

チューブフィーダとチューブウォーマ（別売のプリンタオプション）を同時に使用する場合、チューブウォーマのACアダプタ接続コネクタに接続します。

3

使ってみよう

チューブフィーダをプリンタ本体にセットし、チューブを挿入して、電源をONにする一連の手順について説明します。

Memo

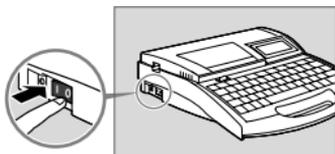
プリンタ本体にチューブがセットされているときは、12ページ「チューブを取り出す」を参考に、いったんチューブを取り外してください。取り外した後で、チューブフィーダを取り付けます。

■ チューブフィーダを取り付ける

チューブフィーダをプリンタ本体にセットします。

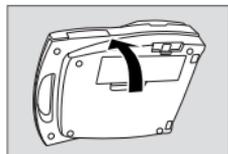
1 プリンタ本体の電源をOFFにする。

- 電源スイッチの「O」側を押す。



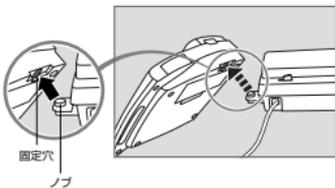
2 プリンタ本体を持ち上げる。

- 図のように右側面を上方に持ち上げて底面が見えるようにする。



3 チューブフィーダを取り付ける。

- プリンタ本体の固定穴にチューブフィーダのノブを合わせる。

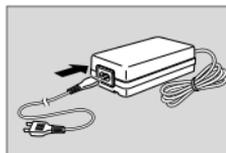


4 インタフェースケーブルを接続する。

- プリンタ本体のインタフェースカバーを開け、チューブフィーダのインタフェースケーブルを右側のコネクタに接続する。



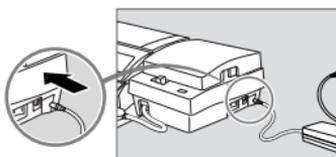
5 電源コードをACアダプタに接続する。



確実に差し込む。

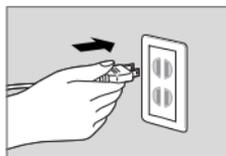
6 ACアダプタを接続する。

- ACアダプタのプラグをチューブフィーダに接続する。



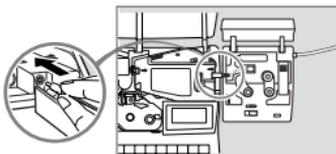
7 コンセントに接続する。

- チューブフィーダの電源スイッチがOFFになっていることを確認してから、ACアダプタのプラグをコンセントに確実に差し込む。



ヒント チューブウォーマを併用するときは

チューブフィーダと一緒にチューブウォーマ（別売のプリンタオプション）を併用するときは、チューブウォーマ接続電源プラグを図のよう
にしてチューブウォーマに接続します。これでチューブウォーマにも電源が供給されます。

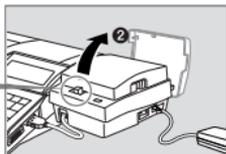


■ チューブフィーダを使う

チューブフィーダにチューブをセットし、電源をONにします。

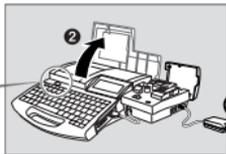
1 チューブフィーダのカバーを開ける。

- カバーオープンレバーを右に引いてから、カバーを手で持ち上げる。



2 プリンタ本体のカバーを開ける。

- カバーオープンレバーを左に引いてから、カバーを手で持ち上げる。

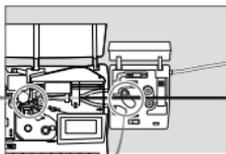


3 チューブを挿入する。

- チューブフィーダのチューブ挿入口からチューブを挿入し、プリンタ本体の搬送ローラ2に突き当たるまで押し込む。



搬送ローラ2



ローラの下にチューブを通す。

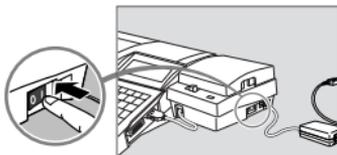
4 カバーを閉める。

- プリンタ本体とチューブフィーダ両方のカバーを閉める。



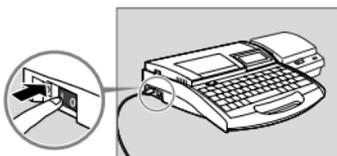
5 チューブフィーダの電源をONにする。

- 電源スイッチの「I」側を押す。



6 プリンタ本体の電源をONにする。

- 電源スイッチの「I」側を押す。



7 表示を確認する。

- プリンタ本体のフィーダ表示部が右のように表示されていることを確認する。



フィーダ表示部にマークが表示される。チューブフィーダの電源を切ると  に表示が変わる。

8 印字操作を行う。

- プリンタ本体の取扱説明書に従って印字操作をする。

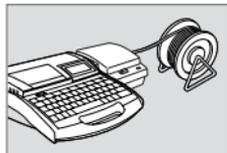
Memo

フィーダ表示部分に何も表示されないときはインタフェースケーブルがプリンタ本体にしっかりと接続されているかどうか確認してください（8ページの手順4参照）。

Hint チューブリールをお使いになるときは

リール式のチューブは、できるだけまっすぐにプリンタに搬送されるように整えてください。

チューブフィーダを使用すると、リールチューブの負荷が7.8N(800gf)まで、チューブをスムーズに搬送できますが、7.8N(800gf)を超える場合、チューブがねじれたり伸びたりして、チューブのカット位置ずれや印字不良の原因になります。



■ チューブを取り出す

チューブはそのままの状態では搬送ローラまで送り出されていて取り出すことはできません。無理にチューブを引き出すと故障の原因になりますので、必ずつぎの手順に従ってチューブを取り出してください。

1 [取出し]を押す。

- 確認画面が表示される。

印字媒体を取出しますか？

はい いいえ

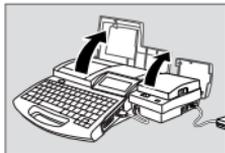
2 [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す。

- 右の表示がされ、チューブが搬送ローラから解放される。

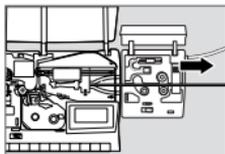
取出し中...

3 カバーを開ける。

- プリンタ本体とチューブフィーダ両方のカバーを開ける。



4 チューブを引き抜く。



5 カバーを閉める。

- プリンタ本体とチューブフィーダ両方のカバーを閉める。



Memo

[Enter]を押した後、プリンタの動作が止まっても、チューブまたはラベルテープが搬送ローラから解放されない（取り出せない）場合は、フィード機能を使います。「チューブが排出／搬送されないときは」をご覧ください。

4

こんなときには

チューブフィーダの取り外しかたのほかに、チューブが詰まったり、きれいに印字できないなどのトラブルが発生したときの処置方法について説明します。

■ チューブフィーダを取り外すときは

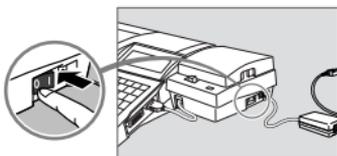
チューブフィーダをプリンタ本体から取り外すときはつぎのようにしてください。いきなりチューブフィーダを取り外すとチューブが詰まる原因となるばかりでなく、故障の原因ともなりますので必ず手順に従ってください。

1 チューブを取り出す。

- 「チューブを取り出す」(12ページ)に従ってチューブを取り出す。

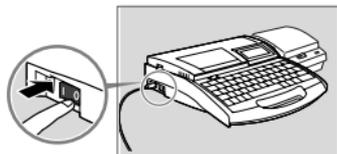
2 チューブフィーダの電源をOFFにする。

- 電源スイッチの「○」側を押す。



3 プリンタ本体の電源をOFFにする。

- 電源スイッチの「○」側を押す。



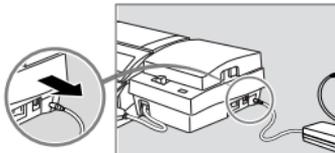
4 インタフェースケーブルを外す。

- インタフェースケーブルをプリンタ本体のコネクタから外す。



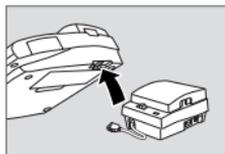
5 ACアダプタを外す。

- ACアダプタのプラグをチューブフィーダから外す。



6 チューブフィーダを取り外す。

- チューブフィーダを押さえながら、プリンタ本体を上方に持ち上げる。



Memo

例えば、次のようなときに、フィード機能を使います。

【例】

- 印字媒体を交換するとき、「取り出し」を実行しても、搬送ローラから印字媒体から解放されず取り出せないときに使う。

- 印字実行し、プリンタが動作しているのに印字物が排出口から出てこないときに使う。

この場合は、チューブがプリンタ内部で詰まっている可能性があるため、カバーを開けて詰まっているかを確認し、詰まっているときの対処に使う。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書「チューブやラベルテープが詰まったら」をご覧ください。

■ チューブが排出／搬送されないときは

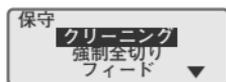
プリンタの「フィード」機能を使うと、プリンタにセットしたチューブを任意に搬送することができます。

ただし、この機能は、チューブが思った通りに排出／搬送されないなどの場合にお使いください。フィードし続けると、印字媒体を傷つけたり、リボンカセットのリボンを巻き込んで詰まりの原因になったりすることがあります。詳細についてはプリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

- 1 印字中など、プリンタが動作している場合は、「ビビッ」と音がするまで[取消]を押す。
プリンタの電源が切れている場合は、電源を入れておく。

- 2 [保守]を押す。

- 保守の選択画面となる。

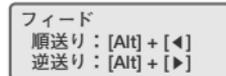


- 3 [▲]または[▼]を押して「フィード」を選択し、[Enter]を押す。

- 「順送り」と「逆送り」の操作方法が表示される。



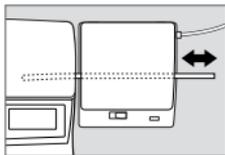
または



- 4 [▶]または[Alt]+[▶]を押し続け、チューブを逆送りする。
チューブをプリンタの排出口側に搬送するときは、[◀]または[Alt]+[◀]を押す。

- 手順3で表示された画面のキー操作に従って押す。

- チューブがチューブアタッチメントの中を通るまで搬送させる。

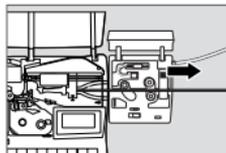


- 5 カバーを開ける。

- プリンタ本体とチューブフィード両方のカバーを開ける。



6 チューブを引き出す。



7 カバーを閉める。

- プリンタ本体とチューブフィーダ両方のカバーを閉める。



■ その他のこんなときには

電源が入らない

電源コードはしっかりとACアダプタに接続されていますか？

また、電源プラグは正しく、確実にコンセントに接続されていますか？

- 8～9ページの手順3～5を参考に確実に接続してください。

電源スイッチはONになっていますか？

- 電源スイッチをONにしてください。

チューブがうまく搬送されない

チューブが内部で引っかかっていませんか？

- チューブが変形しているなどで、うまく挿入できない場合はチューブを回転させながら挿入してください。

チューブは突き当たるまで押し込んでいますか？

- チューブは搬送ローラ2に突き当たるまで押し込みます。10ページの手順3を参考にしてください

プリンタのフィード機能で排出／搬送できますか？

- 16ページを参考にチューブを逆送り、または順送りしてください。

チューブが詰まっていますか？

- プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

きれいに印字できない

負荷がかかりすぎていませんか？

- リール式のチューブは、できるだけまっすぐにプリンタに搬送されるように整えてください。

チューブフィードを使用すると、リールチューブの負荷が7.8N(800gf)まで、チューブをスムーズに搬送できますが、7.8N(800gf)を超える場合、チューブがねじれたり伸びたりして、チューブのカット位置ずれや印字不良の原因になります。

チューブが汚れている

チューブクリーナが汚れていませんか？

- 20ページを参考にチューブクリーナを清掃してください。

チューブを取り出せない

プリンタのフィード機能で排出／搬送できますか？

- 16ページを参考にチューブを逆送り、または順送りしてください。

チューブが詰まっていますか？

- プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

POWERランプがまったくつかない

- 電源コードやACアダプタが正しく接続されている状態で、電源スイッチをONにしてもPOWERランプが点灯しないときは、いったん電源スイッチをOFFにしてから、再度ONにしてみてください。それでもなお、ランプがつかない場合は、すぐに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いて、お近くの販売店までご連絡ください。

メッセージが表示された

- プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

5

お手入れ

チューブフィーダとチューブクリーナのお手入れ方法についてそれぞれ説明します。

⚠ 警告

清掃するときは電源スイッチをOFFにし、ACアダプタのプラグを電源コンセントから抜いてください。

アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は絶対に使用しないでください。表面処理を傷めるだけでなく、溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因となります。感電の原因となります。

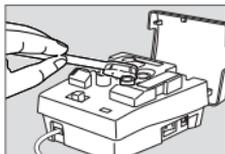
■ チューブフィーダのお手入れ

プリンタ本体の性能を維持し、正しい印字を行うために定期的に清掃をします。「チューブフィーダを取り外すときは」（14ページ）を参考にしてチューブフィーダを取り出したら、水にしめらせて固くしぼったガーゼで表面についての汚れを拭き取ります。



■ ローラのお手入れ

正しい印字を行うために定期的にローラの表面に付着した汚れを清掃してください。清掃には柔らかい歯ブラシなどを使います。



■ チューブクリーナのお手入れ

チューブフィーダにはチューブ表面に付着した汚れを除去するチューブクリーナが装着されています。チューブの汚れが落ちにくくなったなら、図のようにしてチューブクリーナを外し、清掃してください。

チューブクリーナ



Memo

チューブクリーナは消耗品です。清掃しても汚れが落ちにくくなったら新しいものに交換してください。詳しくはお近くの販売店にお問い合わせください。

6

おもな仕様

入力電圧	AC100V~240V 50/60Hz (ACアダプタ使用)
消費電力	13W (最大)
外形寸法	141mm (奥行) × 153.5mm (幅) × 80.7mm (高さ)
重量	約600g
適用チューブ	φ2.5~φ6.5mm (市販品)
使用環境	温度5~32.5℃ 湿度15~80%RH (ただし、結露が発生していないこと)
保管環境	温度5~35℃ 湿度10~80%RH (ただし、結露が発生していないこと)

- 本書に記載されている一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書に記載されている内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品でお客様の不適当な使用により生じた損害、または改造・変更されたこと等に起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容について万一不備な点や記載もれ、また、お気づきの点がありましたらお近くの販売店までご連絡ください。